



バルーンと手旗でカイロスを応援

カイロスポーズをする来場者



宇宙兄弟のグッズを販売する出店

パネルの前で記念撮影

来場者にゾールをプレゼント



串本町のロゴ入り手旗を振る親子

高校生が商品を準備する様子



カイロスロケット

次の挑戦への糧に！

© 2024 スペースポート紀伊周辺地域協議会

3月13日(水) 11時1分、民間初のロケット射場「スペースポート紀伊」からカイロスロケットの初号機が打ち上げられました。約5秒後に飛行中断措置が行われました。

当初は3月9日(土)が打ち上げ予定日でしたが、海上警戒区域内に船舶の残留が確認されたことが原因で延期となり、4日後の13日に打ち上げ日が再設定されました。会場ではカイロスの打ち上げ予定時刻に合わせてカウントダウンが行われ、定刻通りに、大きな音とともに上昇を始めましたが、成功には至りませんでした。

この結果を受け、スペースワン株式会社の豊田正和代表取締役社長は「地元の皆さまには温かく応援していただいた。期待に添えることができず、申し訳ない。地元の方に対する最大の貢献はミッションを達成することだと考えている。ここで諦めず、今後さらに精進してミッション達成を図っていきたい。引き続き地元の方々にはご支援と応援をいただきたい」と話しました。

串本町では2500人を収容できる公式見学場を田原海水浴場に開設し、打ち上げ当日は、高校生考案の地元食材を活かした「ロケットまぜそば」や、地元事業者が開発した、ロケットにちなんだ飲食物、ロケット打ち上げ記念グッズ等を販売する出店が立ち並んでいました。串本町内在住の方をはじめ、県外からもたくさんの方が訪れ、9日は約2400人、13日は平日にも関わらず、約700人が応援に駆けつけてくれました。中には宇宙服のような衣装を身につけたり、串本町のロゴが入った手旗を振ったりしている方もおり、会場はカイロスを応援する熱気で溢れていました。

カイロスの打ち上げを見守っていた来場者は、「今日は絶対飛ぶという想いを込めてきたので、飛行が中断されたことは悲しいが、ロケットの打ち上げはこのようなことも多い。次は宇宙まで飛んで行ってくれることを期待している。次も絶対また来る」と話してくれました。